

まちづくり交付金 事後評価シート
鶴見駅周辺地区

平成21年12月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	鶴見駅周辺地区			面積	約40ha		
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	4,565百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道鶴見113号線、鶴見駅西口人道橋改修)、高質空間形成施設(総持寺跨線橋EV設置)、高次都市施設(区民文化センター)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	事業活用調査(鶴見駅西口及び豊岡通り地区実態調査、当該地区における顧客満足度調査)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道鶴見第96・88号線、市道鶴見第114・115号線)			他事業の実施により、同等の成果が得られるため取りやめ			影響はない			
			提案事業	高質空間形成施設(鶴見駅西口バスターミナルEV設置 高質空間形成施設(鶴見駅東口人道橋改修))			西口駅前広場の「バリアフリー機能強化のため追加人道橋の道路認定されていない部分を高質空間形成施設に変更			指標2「バリアフリーへの満足度」の増加が図れる。			
交付期間の変更		当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	駅利用乗降客数	人/日	185,000	H16	293,000	H22		186,100	△	あり	市街地再開発事業の完了により駅利用者が増加する見込みである。 なお、従前値及び目標値は平成14年度に推計した数値であるため、実態を踏まえた数値ではなかった。従前値の平成16年度の乗降客数は、「横浜市統計書」では179,900人/日である。また、目標値は鉄道の将来計画等を見込んだ数値である。	平成24年度内
	指標2	バリアフリーへの満足度	%	10	H16	20	H22		計測不能	—	あり	駅前広場の整備が完了しないと評価できない指標であるため、計測不能である。 なお、平成19年3月に実施したアンケートでは、満足度は25%であり、平成21年9月に実施したアンケートでは、満足度は46%である。	平成24年10月
	指標3	駅周辺地区への顧客満足度	%	20	H16	40	H22		計測不能	—	あり	駅前広場の整備及び再開発事業が完了しないと評価できない指標であるため、計測不能である。 なお、平成19年3月に実施したアンケートでは、満足度は33%であり、平成21年9月に実施したアンケートでは、満足度は44%である。	平成24年10月
	指標4	区内の文化活動団体の増加	団体	237	H16	250	H22		251	○	あり	コミュニティハウスの整備により文化活動の場と機会が増え、市民の交流が増える。	平成24年1月
指標5	駅周辺地区での文化イベントの実施	人	-	H16	4,000	H22		計測不能	—	あり	再開発ビル内の区民文化センターが開館しないと評価できない指標であるため、計測不能である。	平成24年6月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	バリアフリーへの満足度	%	25	H19				46			駅前広場の整備完了により満足度の向上が見込まれる。	平成24年10月
	その他の数値指標2	駅周辺地区への顧客満足度	%	33	H19				44			駅前広場及び再開発事業の完了により満足度の向上が見込まれる。	平成24年10月
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 鶴見駅人道橋改修により、明るく安心して通れる歩行者空間の改善に寄与している。 鶴見駅西口バスターミナルEV、総持寺跨線橋EVの設置により、バリアフリー対策及び利用者の利便性が向上する。 再開発事業の完成により、地域の活性化とコミュニケーションを図れる場の創出が期待されている。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

鶴見駅周辺地区(神奈川県横浜市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
歩車分離及びバリアフリーの徹底化等、鶴見駅周辺の動線計画再整備を実施し、安全で利用しやすいまちづくりを進める。また、地域の核となる文化施設(公益施設)及び交通拠点の整備等により、地域の活性化を図る。	駅利用乗降客数	単位: 人/日	18,500	H16	293,000	H22	186,100	H21
	バリアフリーへの満足度	単位: %	10	H16	20	H22	計測不能	H21
	駅周辺地区への顧客満足度	単位: %	20	H16	40	H22	計測不能	H21
	区内の文化活動団体の増加	単位: 団体	237	H16	250	H22	251	H21
	駅周辺地区での文化イベントの実施	単位: 人	—	H16	4,000	H22	計測不能	H21

① 高質空間形成: 鶴見人道橋改修(東口)

② 道路: 鶴見人道橋改修(西口)

③ 高質空間形成: 西口バスターミナルEV設置

④ 高次都市施設: 区民文化センター等整備

⑤ 道路: 市道東寺尾244号線整備(旧鶴見113号線)

⑥ 高質空間形成: 総持寺跨線橋EV設置

●基幹事業(道路) 鶴見駅東口駅前広場再整備

●基幹事業(高次都市施設) 地域交流センター(区民文化センター等)整備

●基幹事業(道路) 市道東寺尾第244号線整備(旧鶴見第113号線)

●基幹事業(高質空間形成) 鶴見人道橋改修

●基幹事業(高質空間形成) 鶴見人道橋改修

●基幹事業(高質空間形成) 鶴見駅西口バスターミナルEV設置

●基幹事業(高質空間形成) 総持寺跨線橋EV設置

○関連事業 市道鶴見第96-88号線整備事業

○関連事業 交通安全事業鶴見人道橋事業

○関連事業 鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業

○関連事業 市道鶴見第113-115号線

◎提案事業(事業活用調査)
 ・鶴見駅西口及び豊岡通り地区実態調査
 ・当該地区における顧客満足度調査

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・事業中の市街地再開発事業により商業床が整備され、新たな集客施設として地域の核の整備が実現しつつある。 ・老朽化したJR鶴見駅の東西通路の改修及び総持寺踏切横のこ線人道橋のEV設置等のバリアフリー対策により利用者の安全性と利便性が向上した。 ・駅前の公共・公益施設の整備及び市街地再開発事業の実施により、区の顔づくり、駅前地区の拠点性が強化される。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で利用しやすいまちづくりのために、バリアフリー対策を進め、市民の満足度の向上を目指す。 ・地域の活性化のために、地域の核となる公益施設や商業施設等が連携し、賑わいのあるまちづくりの推進を図る。 ・バス、タクシー、一般車の分離等、交通処理の改善及びバリアフリー化、利用者の動線を考慮したサインの設置等、駅東口駅前広場の再整備が急がれる。